

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3・4
令和3年度予算審査	4・5
議場コンサート	5
3月定例会 議案等審議結果一覧	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会

編集
議会広報委員会

事務局
☎0287-88-7114



ここにこ保育園卒園式 (令和3年3月24日)

3月定例会が3月2日(火)に招集され、3月16日(火)までの15日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は6ページに掲載しています。

※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第187号」をご覧ください。
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字の項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容を掲載していますので、そちらもご覧ください。

<p>平塚 英教 議員</p> <p>1 ゼロカーボンシティ宣言の具 体化について</p> <p>2 那須烏山市国土強靱化地域計 画について</p> <p>3 本市防災行政情報伝達システ ムについて</p> <p>4 新型コロナウイルス対策につ いて</p>	<p>青木 敏久 議員</p> <p>1 新型コロナウイルスワクチン 接種における対策について</p> <p>2 子宮頸がん予防対策について</p> <p>3 地域消防力の向上について</p>	<p>中山 五男 議員</p> <p>1 市長選挙公約と任期中の実績 について</p> <p>2 「市政満足度」についての住 民アンケート実施について</p> <p>3 学校給食費の徴収方法について</p> <p>4 小中学生の安全対策について</p>	<p>村上 進一 議員</p> <p>1 「地域担当職員制度」の導入 について</p> <p>2 市内文化財等の活用について</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症に 係る予防接種事業について</p> <p>4 「那須烏山市民号」の現状と 今後について</p>
<p>田島 信二 議員</p> <p>1 川俣市長の1期目の成果につ いて</p> <p>2 熊田診療所について</p> <p>3 公共施設の大木、枯木処理に ついて</p> <p>4 熊の捕獲について</p>	<p>堀江 清一 議員</p> <p>1 防災情報伝達手段について</p> <p>2 市内の道路管理について</p>	<p>滝口 貴史 議員</p> <p>1 中学生の履物について</p> <p>2 公的避難所の指定について</p> <p>3 ジムの整備について</p> <p>4 東山道について</p> <p>5 広域農道八溝グリーンライン (志島柏崎〜下江川駐在所ま で)の改修計画について</p>	<p>渋井 由放 議員</p> <p>1 旧南那須武道館の再利用につ いて</p> <p>2 農業公社について</p> <p>3 城東排水樋管の管理について</p> <p>4 ごみの収集について</p> <p>5 断水による経済的損失について</p>
<p>小堀 道和 議員</p> <p>1 信頼感を基本とする市政運営 について</p> <p>2 農業後継者不足と耕作放棄地 問題について</p> <p>3 市役所スタッフ機能の充実化 について</p>	<p>荒井 浩二 議員</p> <p>1 電子図書館の設置と在宅学習 の充実</p> <p>2 子どもを見守る環境づくりに ついて</p> <p>3 八溝そばブランドの育成につ いて</p>	<p>矢板 清枝 議員</p> <p>1 地方創生臨時交付金の活用につ いて</p> <p>2 児童虐待について</p>	<p>興野 一美 議員</p> <p>1 消防団員の待遇改善について</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症患 者支援について</p>

議会の動き

令和3年1月

30日 議会だより第59号発行

2月

12日 議会運営委員会
○ 議員全員協議会
○ 第1回2月臨時会

24日 議会広報委員会
○ 議会広報委員会
○ 議員全員協議会

3月

2日 議会運営委員会
○ 議員全員協議会
○ 第2回3月定例会

4日 議場コンサート
(3月16日まで)

5日 議会広報委員会
○ 議会改革特別委員会

9日 各常任委員会
(10日まで)

16日 議会運営委員会
○ 議員全員協議会

4月

7日 議会広報委員会
13日 議会広報委員会
15日 議会運営委員会
○ 防災対策調査特別委員会
○ 庁舎整備検討特別委員会
○ 都市公園に関する議員懇談会

3月定例会が3月2日(火)に招集され、3月16日(火)までの15日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は6ページに掲載しています。

令和3年3月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
一般質問の記事は各議員が作成しています。

村上進一議員

「地域担当職員制度」の導入について

(問) 少子高齢化、人口減少が続く那須烏山市の将来を考える時、市民と行政がともにまちづくりのパートナーとして協働のまちづくりを推進する必要があります。より市民の意向を市政に反映するため、市職員の一人ひとりが各地域の担当職員となり、担当地区の問題解決に取り組み「地域担当職員制度」導入が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

(答) オール那須烏山による協働のまちづくりに向けた「地域担当職員制度」の導入については、様々な角度から総合的に検討させていただきたい。議員のご指摘を踏まえて、まずは市執行部が地域に向いて、市民の皆様との対話の中から地域の問題や課題を共有し、市政に反映させて解決策を見出す広聴事業を強化していきたい。

(問) 広聴事業の強化の先に、ゆくゆくは「地域担当

職員制度」の導入にたどり着くのか。

中山五男議員

市長選挙公約と任期中の実績について

(問) 川俣市長には平成29年立候補当時の選挙公約に、庁舎の本庁方式への移行実現の他、無駄を省き現在の予算規模120億円を80億円以下に削減し、さらに那須南病院に婦人科を創設したい旨の街頭演説をされていた。そして、これらの公約に政治生命をかけて実行すると、力強く訴えていたことを御記憶のことと存ずる。

その公約の中で、果たせたことと道半ばのところがある。市長自らいかに評価されておられるか伺いたい。

(答) 庁舎の本庁方式への移行は、議員や市民の意向を酌みながら進めたい。那須南病院の婦人科創設は、産婦人科の医師と連絡調整を図っており、病院のリニューアルに向け方向づけをしていきたい。

財政面では過去最大の借金残高と過去最少の起債残高が実現する。その他、医療福祉では高齢者ふれあいの里の整備、観光施設では龍門ふるさと民芸館の改修、防災対策では令和元年東日本台風被災からの復旧復興、学校教育では教師の資質、能力、指導力向上を図るためのスーパードクター

チャーター育成推進事業を行い、学力向上を図った。

青木敏久議員

新型コロナウイルスワクチン接種における対策について

(問) 若い世代への普及の課題もあり、接種者に対し、買い物割引や商品券配布等の推進を図る自治体もあるが、本市では接種者にインセンティブを与える考えはあるか。

(答) 交付金活用を考えているが、接種者のみに利益を与えることは是非を含め、検討していきたい。



新型コロナウイルスワクチン集団接種実地訓練

子宮頸がん予防対策について

(問) 大阪大学などは、接種率が大幅に低下した2000年から2003年産まれた女性の間で、将来の子宮頸がん患者が約1万7千人増加、死亡者が約4千人増加するという衝撃的な推計を発表した。本市の定期接種者に対する取り組みについて伺う。

(答) 本市では、令和2年11月に定期接種対象の最終年齢である高校1年生相当の女子の保護者宛てに、郵

送にて情報提供を行った。また、12月には小学6年生から中学3年生の女子の保護者宛てに、学校を通して個別に情報提供をした。さらに、接種希望者にはワクチンの有効性、安全性を説明し、接種を促している。

平塚英教議員

本市防災行政情報伝達システムについて

(問) 災害対応に役立つ防災行政情報伝達システムとするための今後の課題について伺う。

(答) 新システムの周知を強化して利用者の増加を図る。避難情報や災害情報を速やかに正確に市民へ伝える体制整備に努めたい。

(問) 市の防災情報伝達システムは、一業種の携帯電話回線利用のため、この電波が受信できないところは使えない。市内を調査の上、全域で使えるようにしていただきたい。

(答) 再調査し、対策を講じたい。

(問) 足利市の山林火災は他人事では済まない。しかし、本市の防災情報配信の内、火災情報は栃木北東地区消防指令センターからの配信なので市の情報伝達ツールでは直接受けられない。南那須地区の防災行政無線では火災情報も流しているところだが、市全ての情報伝達ツールにも火災情報配信をしていただきたい。

(答) 火災情報は栃木北東地区消防指令センター、または消防本部発信となって

いるが、協議し対応できるように努めたい。

渋井由放議員

旧南那須武道館の再利用について

(問) 令和元年12月定例会で再利用したら良いのではないかと提案したが、令和3年度は解体費4900万円が計上されている。再利用も考えるのか伺う。

(答) 当該地域は浸水想定区域で借地であることから公共施設等再編整備検討委員会において総合的に判断して解体することにした。

(問) 建築面積が約600㎡あるが建設費はいくらだったのか。

(答) 建設費は、約1億円である。

(問) 隣接する保育園は3、4年後に移転するが、その建設費はいくらだったのか。

(答) 建設費は、約4億円である。

滝口貴史議員

広域農道八溝グリーンライン(志島柏崎〜下江川駐在所まで)の改修計画について

(問) 工期と具体的な計画概要を伺う。

(答) 八溝グリーンラインは、本市北部における重要な幹線道路である。特に、志島から江川駐在所までの下川井柏崎線については道路の損傷が激しく、通行に支障を来している。以前から、要望のあった箇所であるため、令和2年度から、辺地対策事業債を活用して、全体計画延長約1500mの道路整備を推進していく。

今年度の計画としては、延長約160mの側溝設置及び舗装の打ち換えを主とした整備をし、令和3年8月までに完成予定である。令和3年度以降も、事業推進を図れるよう財源確保に努めていく。

(問) 事業全体の終わりはいつ頃を予定しているのか。

(答) 事業期間は、令和2年度から令和6年度、この5年間を予定している。総事業費としては、約4億円を想定している。

堀江清一議員

防災情報伝達手段について

(問) 防災Infoなすからすやまの情報伝達が2月13日の地震の時、40分以上も遅れた理由を伺う。

(答) 端末の入力は市職員が対応しているため、判断に時間を要してしまった。

(問) デジタル化した防災行政無線は、必要だと思いが市長の考えを伺う。

(答) 今回の反省点がたくさんある。いろいろな機種を整え、放送ツールをもう少し増やして理解してもらうよう進めたい。

(問) 防災行政無線のデジタル化に要する見積金額は、議会に対する説明で約10億円とのことだったが、実績のある別会社からは約4億7千万円の提案もあった。半分の金額で出来るのであれば検討の余地もあつたと思うがいかがか。

(答) 当時、5億円程度の情報も持っていたと思うが、設置後に不感地域があれば増設する等、さらに数億円の予算がかかることを加味した上で、10億円程度を見込んだ。当時の判断は、本市に見合ったもので間違っていないかと感じている。

田島信一議員

川俣市長の1期目の成果について

(問) まもなく市長1期目の任期が満了となるが、これまでの成果を伺う。

(答) 令和元年東日本台風による被災、新型コロナウイルス感染症対策と経験したことのない事態に遭遇した。令和元年東日本台風については、市民生活の再建に関係者、関係機関と連携を図り、被災箇所の復旧復興に最大限の力を注ぎ、一部を除き今春より農作物の作付けができる見通しである。

新型コロナウイルス感染症では、二度にわたる緊急事態宣言により、市民生活に大きな影響を及ぼし、集団ワクチン接種については、関係機関と連携しつづき万全を期したい。政治理念である覚悟と責任と対話による、市民のための市民参加の市政運営を実現するため、多くの皆様のご支援、ご協力に感謝を込めて誠実に尽力してきた。

(問) 市長の今後の進退について伺う。
(答) 今年の10月で任期が満了となる。コロナ禍ということで後援会や支持者の方々と協議ができず、今後協議し進退を決めさせていただきます。

興野一美議員

消防団員の待遇改善について

(問) 消防団員の昼夜を問わず、危険を伴う火災災害等の出勤手当は1500円、訓練手当は700円である。本市消防団員の手当について見解を伺う。
(答) 本市の団員報酬の引上げの経緯は、平成23年度に分団長及び副分団長の報酬を、平成24年度に部長の報酬をそれぞれ引き上げた。一般団員の報酬は、平成30年度の消防委員会で議論され、部の統合を検討し、団員定数の見直しの中で、団員の報酬及び出勤手当の増額を要望するとの答申が示された。団員の報酬引上げは、分団部の統合と合わせ検討していく。

(問) 消防団の組織再編が必要である。効率的な組織体制と車両や機材、詰所等を集約し、活動しやすい整備と配置が大切ではないかと考えるが、見解を伺う。
(答) 市全体の消防力の維持の観点から、再編を考える必要がある。分団部の統合再編、定数の見直し等を図るため、消防団再編計画の作成を進めている。この計画と市、地元自治会、地元分団部との協議の結果により、統合再編、定数の見直し等を進めてまいりたい。

矢板清枝議員

地方創生臨時交付金の活用について

(問) コロナ禍において国の地方創生臨時交付金第3次枠で、市としてどのような事業を実施していくのか伺う。
(答) 本市に対する第3次交付限度額として、さらに1億8401万8千円が内示されたところで引き続き新型コロナウイルス感染症対策や、地域経済対策の趣旨に沿った有効な事業を検討していく。

(問) 緊急事態宣言は飲食店への要請に限定して実施された。今後、飲食関係業者に対しての給付がなされることである。それ以外の影響を受けている地元事業者等に対して市独自で支援できないか伺う。
(答) 県と市が共同で支給する時短協力金は、県の要請に応じ、時短営業または休業した飲食店に対して支給される。また、国として

は、緊急事態宣言の影響を受けて本年1月から3月のいずれかの月の売上高が、対前年比で50%以上が減少した中堅・中小企業者等向け一時金の支給を予定している。今後は国の制度から外れてしまうような困窮する事業者には、市単独で支援する施策も検討している。

荒井浩二議員

電子図書館の設置と在宅学習の充実

(問) ICTの利用による情報活用能力を育成すべく、GIGAスクール構想が全国的に動き出した。学校内だけでなく、在宅学習への可能性が模索される中、市民の教養を育み、情報通信技術に順応していくため、本市にも電子図書館の設置が必要だと考えるが、今後の計画について伺う。
(答) コロナ禍で電子図書館サービスが注目され、設置を検討する図書館が増えている。本年2月現在では全国10%の自治体、県内7市町15図書館が導入済みである。導入には交付金を活用出来るが、維持管理費が高額なため現段階では見送ったものの、利用者のニーズ把握に努め、時代に合った図書館の在り方を検討していく。

(問) 令和3年度そばまつりの開催予定について伺う。
(答) そばまつり実行委員会内では差し当たり中止との承認を得たが、コロナ禍での状況を鑑みて開催を視野に予算を利用していく。

小堀道和議員

農業後継者不足と耕作放棄地問題について

(問) 平成30年度の営農意向調査では72.1%が後継者不足、25.6%が規模縮小または離農と合計97.7%が継続困難という回答である。深刻な耕作放棄地の具体的対策を伺う。
(答) 耕作放棄地対策は、行政主導支援策だけでは解決されず、農業者や後継者の経営意欲の向上なくして解決は難しく、農業者が高齢のため成果が見えない。耕作放棄地や遊休農地の有効な活用法、再生作業による優良農地への転換、新規作物の作付など、県補助金等を活用し、関係機関と連携し推進している。株式会社アグリ那須烏山では、飼料用米や飼料用稲の作付拡大の対策を講じている。今後も関係機関と連携し、効果的な施策を検討していく。

(問) 耕作放棄地問題の農業委員会の取組を伺う。
(答) 農業委員会の活動方針として、遊休農地の利用状況調査や農地パトロールにより、放棄地確認や地権者の割り出し、農地の有効利用や維持管理を依頼し耕作放棄地の減少に向けた活動を実施している。



主な質疑

那須烏山市行政財産使用料条例の一部改正について

議員 公共工事施工のための使用に係る使用料について明文化することだが、公共工事のみならず民間工事でも貸してもらえるのか伺う。
答 民間工事の場合は本改正の対象ではないが、土地を使用させる場合は条例別表に基づき使用料等を徴収することになる。

地方税等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について
議員 延滞金について、条例改正前に比べ、改正後は金額的に負担が重くなるのか伺う。
答 令和3年1月1日から、1ヶ月以内のものについては2.5%、1ヶ月を超えるものについては8.8%となる。昨年からは0.1%下がったことになる。

那須烏山市立保育所の設置及び管理並びに保育の実施に関する条例等の一部改正について
議員 底地を合筆したとのことだが、法律で合筆しなければならない規定があるのか伺う。
答 地籍調査により、今まで「野上703番地」というものだったが、同じ地番がそこには無いので「703番地1」とす



地籍調査により地番が変更となったすくすく保育園

3月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

部、橋梁部分は繰り越しを行い、令和3年度の事業として実施する。
議員 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費746万9千円の内容について伺う。
答 予約センターの業務委託料、会場設営等の業務委託料、消耗品等の追加、クーポン券、予約票の印刷・封緘、結果入力等の委託料が増額している。接種に係る医師、看護師等の報償費2千万円ほど減額した。ワクチン確保が難しいとの理由で、接種開始時期が4月にずれ込むことになったため、県からの負担金に係る経費は令和3年度予算に計上することになった。

令和2年度那須烏山市一般会計補正予算等について
議員 熊田診療所特別会計に263万3千円繰出している。熊田診療所運営基金が枯渇しているが、その要因を伺う。
答 診療収入が405万9千円減収となつている。新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えが見られる。年々1000〜2000名受診者が減少している。

議員 農地・農業用施設災害復旧事業費は6281万8千円とあるが、これで災害復旧事業が完了すると考えていいのか伺う。
答 概ね完了となる。一

議員 企業誘致事業費698万5千円減額となっているがその内容について伺う。
答 企業誘致の減額については全額、企業立地奨励金であり、その申請が概ね固まったので、不用額の分を減額補正するものである。
議員 国保の保険給付費が1億9200万円減額となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響によるものか伺う。
答 保険給付費は、不足が生じないように前年度と同程度の予算を編成している。しかし、新型コ

ロナウイルス感染症の影響で、保険診療を受ける人が減少し、保険給付が減少した。

令和3年度当初予算に関する総括質疑

議員 新型コロナウイルスPCR検査等助成事業の対象者と費用対効果について伺う。

答弁 対象者は市内通所系・訪問系の高齢者、障がい者サービス事業所の職員であり、プール方式による検査であるため、陽性者が出た場合、確定診断のための行政検査を受け、その後は県の指導により対応していく。

令和2年度は44ヶ所で検査を行い、申込者417名全員が陰性だった。一時的な結果ではあるが、事業所職員、利用者双方に安心をもたらす、また、各事業所職員の感染対策の成果にも繋がり、効果はあると考えている。

議員 清水川せせらぎ公園整備計画の概要について伺う。

答弁 令和3年度から造成工事を3年ほどかけ、公園中央部にある現在は水が流れていないせせらぎを埋め立て、安全に利用出来るよう整備を進める。埋め立てにより一体的で広い空間を活かした利用が図れるのではと期待するところである。

議員 総事業費はいくらとなり、また、完成後の維持管理費はいくらとなるのか伺う。

答弁 事業費は約6200万円と考えている。その後、遊具や休憩施設、看板等の設置をしていくことになる。ただし、当該公園は河川管理者である県との協議が必要となるので、何を設置するかによりこれらの金額が相当に変動することから、回答は控えたい。



清水川せせらぎ公園

議員 令和3年度に本市のハザードマップを更新することだが、既存のものと比較し、どのような違いがあるのか伺う。

答弁 今回作成するものは冊子タイプで、全戸配布を予定している。市内全域が掲載されているものとなる。

議員 ため池の情報は載るのか、また、県が土砂災害警戒区域等を見直すところがあるが、荒川等、現在河川改修を行っている箇所も反映されるのか。

答弁 ため池のハザードマップができることから、関係部署と調整しながら最新のハザードマップに掲載するか検討していく。また、河川改修についても、ハザードマップに反映されるものと考えている。

議員 小中学校照明LED化事業について、電気料金が上昇する中、長期利用が見込まれる学校に、多くの太陽光パネルを設置すべきと考えるが、市の考えを伺う。



太陽光パネルが設置されている烏山小学校体育館

答弁 合理的であると考えますが、学校敷地や費用の問題もあることから、今後各学校と協議を重ね、整備の可否や補助制度等を確認し検討したい。

議員 子どもたちに環境問題の意識啓発や教育の機会を設けてはどうか。また、地元やJR烏山線への興味を醸成するため、アキユムを絡めたエコに関する講座等を設けてはどうか伺う。

答弁 地球温暖化問題は避けては通れないので、今後、児童や生徒、保護者等も含めた、専門講師による校外学習や研修等も検討したい。また、アキユム関連の講座は、まちづくり課において市民向けに開催しているので、小中学生のみならず、広く普及が図れればと考えている。

令和3年度 予算審査

令和3年度一般会計、6特別会計、水道事業会計の予算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等で本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

◎所管する課等
総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

総合政策課

- 財政調整基金は適正規模を上回っていることから、引き続き健全な財政運営に努められたい。
○市公式LINEでアンケート調査を実施するなど、市からの情報発信だけでなく、利用者との双方向的な活用を図られたい。
○ふるさと応援寄附金の返礼品は、現在70品目以上と充実してきているが、更に様々な特産品を取り入れるなど、生産者や企業への働きかけを推進されたい。



ふるさと応援寄附金の返礼品として新たに追加されたいいちご

まちづくり課

- 住宅リフォーム助成金が令和2年度で廃止となるが、助成対象者のみならず施工業者にも有益な事業であるため、再度この事業の継続を検討されたい。
○なすから特派員の活動について、個人での情報発信だけでなく、全員でキャンペーンを行うなど、効率的な事業の展開を検討されたい。
○JR烏山線利用促進のため、車内でのイベント開催を提案するなど、新たな取組を検討されたい。

総務課

- 災害時において、迅速かつ的確に情報の収集・発信ができるよう、更なる情報発信体制の整備に努められたい。
○顧問弁護士には、定期的な指導を受け、問題が発生する前に相談するなど、十分活用されたい。
○著作物複写利用許諾契約について、庁内で情報共有を徹底し、共通認識を持って適正な取扱いをされたい。

税務課

- 長年の懸案であった大口滞納について、公売による滞納処分を実施しているところであり、解決に向け前進している。大口・悪質滞納の滞納整理に当たっては、引き続き厳正かつ毅然とした対応を図られたい。
○納付方法について、国や他の自治体の動向に注視しながら、様々な方法を検討し、納付しやす環境の整備に努められたい。

健康福祉課

- 市役所における確定申告会場の混雑緩和、市民の利便性向上及び職員の事務負担軽減のためにも、e-Taxの利用を更に推進されたい。
○新たに耐火金庫の購入を予定しており、これまで要していた金庫の保守費用の削減と安全性の向上が見込まれる。今後も現金等の安全管理に努められたい。

文教福祉常任委員会

◎所管する課等
市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課

市民課

- マイナンバーカードの交付率は増加傾向にあるが、更なる制度の普及啓発、交付に努められたい。
○市民課の窓口対応は、他の部署と比べて市一般的な相談を受けることが多く、市民に寄り添った丁寧な対応を心掛けたらいい。

健康福祉課

- コロナ禍のなか、県内でも比較的感染者が少ないのは、日々、感染防止に向けた啓発に努められてきた結果だと思われる。新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業に関しては、最前線で対応していくため、今後、様々な困難が予測される。健康福祉課のみならず他の部署に協力を求めることも考慮し、適切な人員の配置について検討されたい。
○これから高齢化が一層進むことにより、介護保険等の財政負担が増えることが予想される。介護予防、認知症予防のため、健康マイレージ事業等の推進により、健康増進を図り、負担を軽減されたい。

こども課

- 各種事業による子育て支援の充実を図るとともに、制度の創設と拡充について検討を行い、安心できる子育てしやすい街づくりに繋がるよう努められたい。
○若者交流事業は、出会いの場づくりに最適であり、少子化の一因とされている少母化の解消にも繋がるため、更なる事業の推進に努められたい。

学校教育課

- スーパージョーキー育成推進事業は、年々、成果が出てきていることから、更なる学力向上に繋がるよう取組を推進されたい。

たい。
 ○国が進めるGIGAスクール構想については、児童・生徒に配られるタブレットによって学びの幅が広がるため、更なる学力向上が期待できる。そのため、児童・生徒の指導に向けた教職員に対する研修を行うとともに、タブレットの運用基準を作成されたい。

生涯学習課
 ○いちご一会とちぎ国体は、令和4年度に行われ、アーチェリー会場として本市が選ばれている。この機会に全国に向けて周知を図るとともに、本市のPRも実施されたい。また、令和3年度のリハール大会も本番での成功に繋がるよう努力されたい。

○烏山城跡は、中世と近世の山城が現存している珍しい城跡であるため、国史跡に指定されるよう努められたい。

○本市には、自然や歴史、文化財等に関連する貴重な資料が数多く存在することから、これら資料の調査研究や市民の生涯学習活動の支援が必要となるため、来訪者に対するガイドダンス機能を有する文化拠点施設整備の検討を進められたい。

○本市は、約2億5千万年前から現在にいたる各年代の地層が途切れることなく見ることが出来る学術的にも珍しい地域資源を有している。市内小中

学生が学習する機会もあり、興味関心が高まってきていることから、更なる市内外の認知度を上げるために周知を行う等、日本ジオパークネットワークの正会員認定に向けて努力されたい。



曲畑地内の地層を観察する境小学校の児童

経済建設常任委員会
 ◎所管する課等
 農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

農政課
 ○令和3年度から農業委員会及び農地利用最適化推進委員が新体制となることから、関係機関と連携し、遊休農地の解消や新規就農者の増加に向けて更なる支援に努められたい。

○都市農村交流事業について、豊島区との交流事業を実施する中で、お互いだけでなく、双方に経済効果が期待できる取組を推進されたい。

○芳賀台土地改良事業に関する各事業費について、当初の事業計画の受益面積の割合に応じて負

担をしているが、現状、受益面積がないのにも関わらず事業費負担をすることには疑義があることから、関係機関と調整を図られたい。

商工観光課
 ○企業誘致事業は、本市の重要な産業政策であることから、市長のトップセールスや積極的な企業訪問を展開し、企業誘致及び雇用創出の更なる促進を図られたい。

○観光協会支援事業について、山あげ会館及び龍門ふるさと民芸館の指定管理者である観光協会に対し、機能強化及び経営改善に向けたコンサルティングを実施していることの意義を十分に理解し、今後は、自主的な運営が行われるよう更なる指導・監督に努められたい。



リニューアルオープンした龍門ふるさと民芸館

とのないよう他自治体の状況を調査のうえ、新たな支援策を検討されたい。

○市営住宅は、老朽化が進んでいる状況であり、那須烏山市公共施設等総合管理計画に基づき適正な対応を図るとともに、将来的な市営住宅の在り方について、今後の需要や人口推移を見据えた中長期的な視点で検討されたい。

○防災集団移転促進事業について、地域住民の制度理解や意向確認に努め、合意形成に向けた綿密な取組を図るとともに、移転促進区域内における農地等の今後の土地利用についても、農政課や関係機関と連携し地域住民に寄り添ったきめ細やかな対応を図られたい。

上下水道課
 ○水道事業について、アセットマネジメントや水道管路更新計画に基づき、老朽化した管路の更新を図るとともに、地震等の災害時に備えた管路の耐震性向上にも配慮し、市民に安心安全な水の供給が行えるよう努められたい。

○下水道事業について、ストックマネジメント計画の策定及び公営企業会計移行業務を着実に実施するとともに、下水道の加入促進を図り、公営企業会計適用後の健全な経営に向けて取り組みを進められたい。

議場コンサートを開催しました
 市民に親しまれる議会の実現及び議会の活性化を目指して、3月4日(木)の本会議開会前に、今回で4回目となる議場コンサートを開催しました。
 県立烏山高等学校吹奏楽部により「クラリネット五重奏 波影、サクソフォン三重奏 サクソフォン三重奏曲『プリムラ』」を披露していただき、議員、執行部職員ほか来場者51人が、その演奏を楽しみました。



議案等	審査結果
報告第1号 専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第2号 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第6号)について)	承認
議案第1号 令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第7号)について	可決

2月臨時会
 2月12日(金)に招集され、市長より提出された議案は全会一致で可決されました。その議案は左記のとおりです。

3月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
3月2日(火)	開会・上程・採決・付託	5人
3月3日(水)	一般質問	5人
3月4日(木)	一般質問	25人
3月5日(金)	一般質問	14人
3月8日(月)	予算総括質疑	2人
3月16日(火)	上程・報告・採決・閉会	2人
計		53人

議会を傍聴してみませんか
 議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。
 詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
 (☎ 0287-88-7114)

6月定例会は、6月1日(火)開会予定です
 正式な日程は5月25日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

(全会一致)

3月定例会 議案等審議結果一覧

議案等			審議結果	議案等			審議結果
議案第28号	那須烏山市監査委員の選任同意について		同意	議案第11号	令和2年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算(第1号)について		可決
議案第29号	那須烏山市農業委員会委員の任命同意について		同意	議案第12号	令和2年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について		可決
議案第17号	那須烏山市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について		可決	議案第13号	令和2年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第3号)について		可決
議案第18号	那須烏山市行政財産使用料条例の一部改正について		可決	議案第14号	令和2年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について		可決
議案第19号	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について		可決	議案第15号	令和2年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について		可決
議案第21号	那須烏山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について		可決	議案第16号	令和2年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第2号)について		可決
議案第22号	那須烏山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について		可決	議案第3号	令和3年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算について		可決
議案第23号	那須烏山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について		可決	議案第6号	令和3年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計予算について		可決
議案第24号	那須烏山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について		可決	議案第7号	令和3年度那須烏山市下水道事業特別会計予算について		可決
議案第25号	那須烏山市立保育所の設置及び管理並びに保育の実施に関する条例等の一部改正について		可決	議案第8号	令和3年度那須烏山市水道事業会計予算について		可決
議案第26号	那須烏山市道の構造の技術的基準及び道路標識の寸法に関する条例の一部改正について		可決	議案第27号	那須烏山市教育長の任命同意について		同意
議案第9号	令和2年度那須烏山市一般会計補正予算(第8号)について		可決	発議第1号	那須烏山市議会会議規則の一部改正について		可決
議案第10号	令和2年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について		可決	発議第2号	防災対策調査特別委員会の設置について		可決

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋谷由放	久保光郎	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第20号	那須烏山市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第1号修正案	令和3年度那須烏山市一般会計予算に対する修正案	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	令和3年度那須烏山市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和3年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和3年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和3年度那須烏山市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で久保居議長は表決に加わらない。※議案第1～第8号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決。※議案第1号は修正案を除く原案。

防災対策調査特別委員会の設置

▽設置目的

令和元年東日本台風により、本市は甚大な被害を受け、市民生活に深刻な影響をもたらした。今後、数十年に一度といわれる大規模災害が毎年のように発生してもおかしくない状況下にあることから、市民の生命と財産を守る防災・減災対策に関する調査研究を目的とする。

▽委員

委員長 平塚 英教 副委員長 堀江 清一 他議員 15名

※特定の問題や事件について、特に審査や調査研究の必要がある場合、議会の議決により、特別委員会が設置されます。

議案第1号修正案

議案第1号那須烏山市一般会計予算109億1,000万円のうち、清水川せせらぎ公園施設整備に関連する予算3,581万7千円は、予算審査の際に「現在の利用状況や今後のニーズを十分に調査し、コンセプトを明確にした議論が必要」、「賑わいの創出や子育て環境等にも配慮した市内全体の公園の在り方について検討が必要」等の意見があったことから当該予算を削減し、予算総額108億7,418万3千円とする修正案を、議員5名が発議者として提出し可決されました。

※清水川せせらぎ公園施設整備は、3年間の計画で、遊具等を除く予算総額6,200万円の事業

3月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第1号	国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を 求める陳情書	なし	継続審査
陳情書第2号	市道鴻野山小倉線の道路改良工事について	なし	採択



意見書提出
3月定例会での決定を受け「防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書」を関係行政庁へ提出しました。

意見書提出

あしがき

3月定例会の報告となる第60号議会だよりを市民の皆さんにお届けする頃には、田植えの季節になっていと思います。水を張った田んぼにお日さまの光が反射してキラキラと輝き、夜になると何処から湧いてきたのかカエルの大合唱です。

一昨年の台風19号の豪雨により、本市は農地、農業用施設に甚大な被害がありました。今年も、一部の農地を除き復旧し、美しい田園風景が戻りました。

これより、牛乳のちよつといひ話を書きます。

牛乳は「神が人間に与えた最も完全に近い食品である」。赤ちゃんを守る母乳の力、成長に必要な栄養素をバランスよく含み、免疫機能の未熟な赤ちゃんを守る成分も含まれています。

牛乳乳製品に含まれている乳たんぱく質は、免疫細胞を含む全ての細胞や免疫物質を作る材料になります。カルシウムは、免疫機能の正常な働きに欠かせない栄養素です。

折しもコロナ禍ですので、牛乳乳製品を飲んで食べて、感染症の予防につなげましょう。

(興野一美議員)

